

この度は、「Response to the Seawater Contamination Event at Hamaoka Unit 5 and the Effects of Corrosion by Seawater」といった題目で水化学部会 奨励賞という大変光栄な賞に選出して頂き誠にありがとうございます。

本論文は弊社の浜岡原子力発電所5号機における海水混入事象への対応として、これまでの知見をまとめたものです。私独自の研究開発による成果ではないものの、本事象は原子炉施設内に約400m³もの海水が流入するという国内はもちろん海外においても類を見ない事象であり、プラントへの海水混入事象の発生原因から対策までの詳細を整理して論文にすることができました。再稼働に向けた対応は長期間に及んでおり、私もそれに関係した研究を行っている最中ですが、着実に前進していると考えております。

私自身未熟者ではございますが、本件での対応研究を進めていくことで、浜岡5号機の再稼働に貢献するとともに、得られた知見を本研究や部会を通して微力ながら水化学分野に貢献できるように精進致しますので、今後も何卒よろしくお願い申し上げます。

中部電力株式会社 原子力安全技術研究所
大村 幸一郎